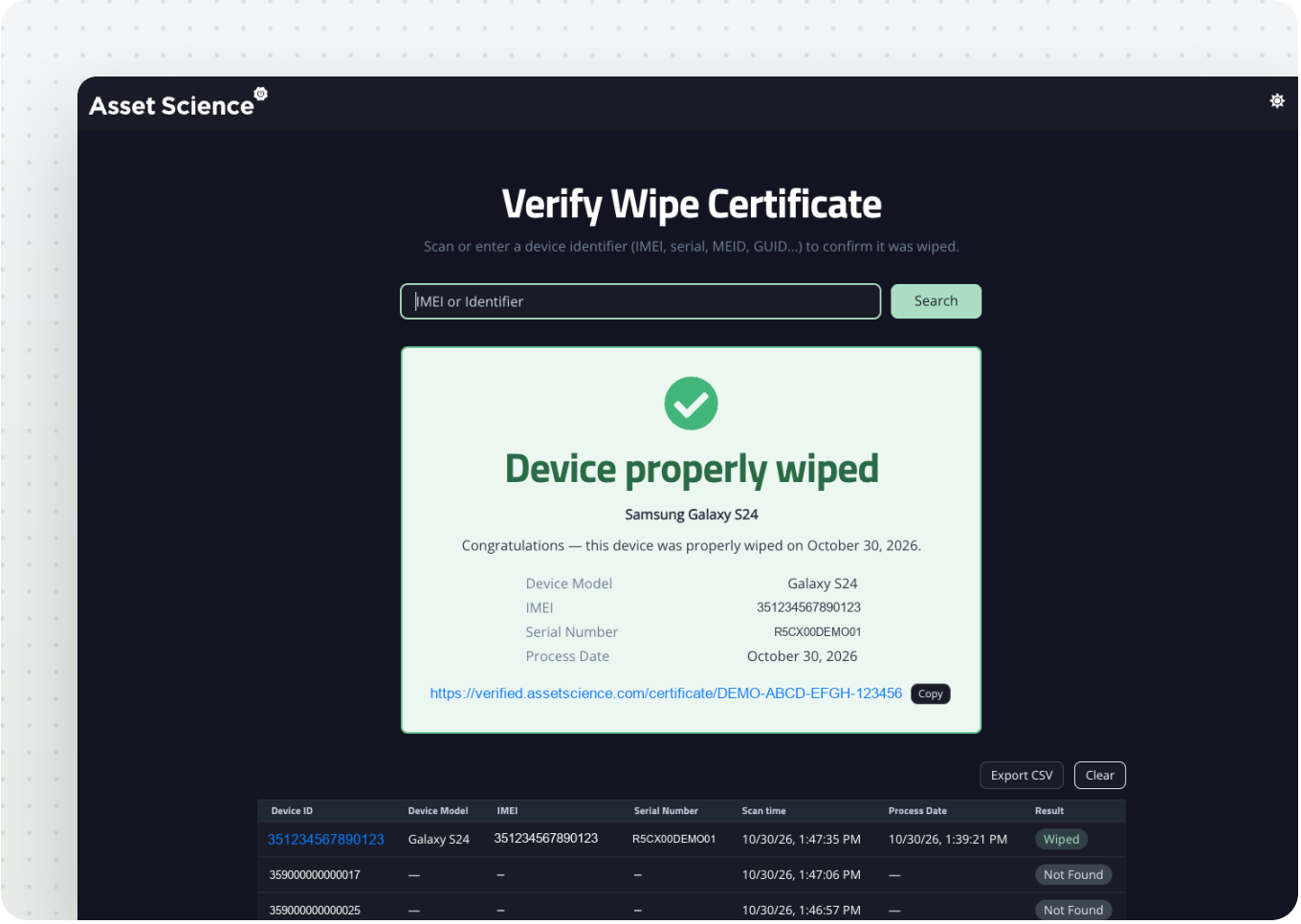
公開 WEB 証明

証拠は社外へ出ていきます。

IMEI またはシリアル番号があれば、誰でも verified.assetscience.com で、処理したデバイスに何が行われたかを確認できます。アカウントもサインインも不要です。消去・診断の証明書、共有可能なリンク、PDF、そしてパレット単位のバッチエクスポートを提供します。



対象読者
デバイス処理事業者の運用・コンプライアンス・IT 責任者

検索
IMEI・シリアル・MEID・GUID

公開証明書
verified.assetscience.com/verify

概要一覧

購入検討者が必ず聞く 8 つの質問。

この製品はテスト用の作業台ではなく、証明書そのものです。Asset Science プラットフォームがデバイスについて記録した内容を、識別子を入力できる人全員に公開します。

証明書 — はい

公開 Web 検索 verified.assetscience.com で IMEI、シリアル、MEID、GUID から検索でき、共有可能な証明書リンク、ダウンロード可能な PDF、バッチ生成される証明書 PDF を提供します。

ADISA 認証取得済み — AAL 4

証明書の発行元が **Pro-Diagnostics（PDD）と MacRestore** の場合、ADISA 保証レベル 4 のマークが付きます。Pro-Diagnostic PC は ADISA 認証を取得していません。その消去レポートには代わりに NIST 800-88 の方式が記載されます。

消去の種類 — NIST 800-88

証明書には **コンテンツ消去の方式**が明記されます。フルディスク暗号化されたデバイスでは鍵を破棄し、暗号化されていないデバイスでは上書きを行います。ファクトリーリセットはステータスタイルで確認されます。

ガイド付きユーザーテスト — 該当なし

テストは診断製品側で実施されます。証明書は **その結果を報告する**のみで、証明書自体がテストを実行することはありません。

テストの種類 — 実行ではなく報告

合格・失敗件数を含む診断結果、バッテリーの健全性、GSMA ブラックリスト、ファクトリーリセット、eSIM などのデバイスステータスチェックを、処理時に記録されたとおりに表示します。

主な機能 — 4

アカウント不要の公開検索。共有可能なリンクと PDF。**バッチ CSV エクスポートとバッチ証明書 PDF。** 何を公開するかを顧客ごとに制御。

対応プラットフォーム — あらゆるブラウザー

検索も証明書も **Web ページ**です。購入検討者、監査担当者、最終所有者のいずれもインストールは不要です。レコードは Asset Science プラットフォームから取得されます。

データ分析と API — CSV

スキャンしたバッチは検索画面から CSV にエクスポートできます。一括検索は最大 30,000 件の識別子を含む CSV に対応します。元となるレコードは Control Center に保持され、完全なデータエクスポートが利用できます。

1. **処理** — デバイスをプラットフォーム上でテストし、消去します。1 台につき 1 レコードです。
2. **公開** — 何を公開するかはアカウント側で決定します。検索、ページ、PDF。
3. **検索** — 誰でも識別子を入力またはスキャンできます。アカウントは不要です。
4. **確認** — 証明書が開き、共有用リンクと保存用 PDF が利用できます。

1 つのレコードに、3 通りの到達方法。 公開ページで識別子から検索する、共有可能な証明書リンクを開く、ラベルの QR コードをスキャンする。3 つとも、そのデバイスの同じ証明書に到達します。

公開証明書が重要な理由

社外の誰も読めないレコードは、単なる主張にすぎません。

処理したすべてのデバイスは、公開ページで IMEI またはシリアル番号から検索できます。購入検討者、顧客の監査担当者、最終的にその端末を所有する人が確認できます。

購入検討者

送付されたファイルから証拠を開きます。

証明書リンクはエクスポートしたレポートの中に含まれています。ロットを受け取る購入検討者は、スプレッドシートの記載を鵜呑みにしません。各行が、自分で開けるページを指しています。

監査担当者

すでに知っている用語で読めます。

証明書にはコンテンツ消去の方式が明記され、GSMA ブラックリストとファクトリーリセットの状態が示されます。処理に用いた製品が認証を取得している場合は ADISA マークが付きます。

最終所有者

手元の端末を自分で確認できます。

ラベルの QR コードは同じ証明書に解決されます。そのデバイスを最終的に手にした人は、誰にも尋ねることなく、消去されたこととその時期を確認できます。

Not Found は、文字どおり見つからないことです。 誰も処理していないデバイスは、安心させるような空白ではなく Not Found を返します。検索が、記録のない消去をほのめかすことはありません。

ADISA

ADISA 保証レベル 4 の認証を取得し、その範囲を明記しています。

Pro-Diagnostics と MacRestore は ADISA 保証レベル 4 の認証を取得しており、ADISA Research Centre の Product Claims Test により独立して試験されています。認証は名指しされた製品に適用されます。Pro-Diagnostic PC は認証を取得していないため、コンピューターについて認証消去の主張は行いません。そのレポートにはドライブごとに NIST 800-88 の方式が記載されます。

NIST 800-88 REV. 2

Clear（消去）と Purge（完全消去）は互換ではありません。

各ドライブには、そのドライブが実際に実行できる、より強力な方式が適用されます。使用した方式は、そのドライブのシリアル番号とともに消去レポートに明記されます。

IEEE 2883

標準そのものの用語。

サニタイズの用語と検証の要件は現行の標準に整合しています。そのため、当社のレポートを読む監査担当者は、すでに知っている用語を読むことになります。

検索

アカウントなしで、誰でもデバイスを確認できます。

IMEI、シリアル、MEID、GUID のいずれかの識別子をスキャンまたは入力します。結果はそのデバイスの証明書に直接リンクします。

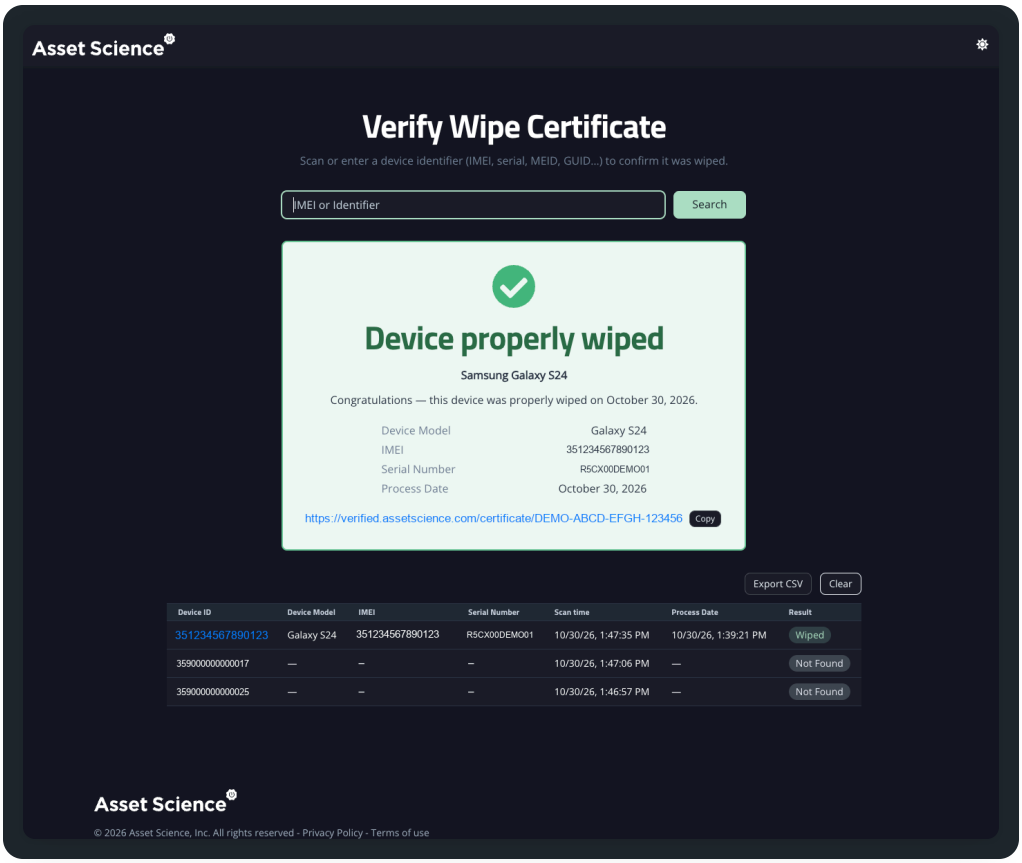


図1 verified.assetscience.com/verify。消去済みデバイスは、モデル、IMEI、シリアル、処理日を含む結果カードと、Copy ボタン付きの証明書リンクを返します。その下には、スキャンしたバッチと Export CSV が表示されます。誰も処理していない 2 件の識別子は Not Found を返します。表示されている識別子は架空のものです。

1

スキャンまたは入力

検索ボックスは 1 つ。バーコードスキャナーでもキーボードでも、対応する識別子なら何でも使えます。

2

結果を読む

デバイスが正しく消去されたこと、モデル、IMEI、シリアル、処理日が表示されます。該当がなければ Not Found です。

3

リンクをコピー

アカウントで許可されていれば、証明書リンクは、それを持つ人なら誰でも開けます。

4

バッチをエクスポート

セッション中のすべてのスキャンがテーブルに入ります。Export CSV でバッチ全体を書き出せます。

インストールも、サインアップも不要です。 このページは、識別子を持つ人なら誰にでも開かれています。処理したデバイスについて何を見せるかは、アカウントの公開設定で決まります。詳細は 6 ページを参照してください。

証明書

何が、どのように消去され、デバイスのテスト結果がどうだったか。

検索結果の先にあるページで、リンクを持つ人なら誰でも PDF としてダウンロードできます。証明書はデバイスごとに 1 通で、固有の証明書 ID を持ちます。

ヘッダーと結果

証明書 ID、セッション、モデル、IMEI、結果。

バナーが結果を 1 行で示します。Data Cleaning & Diagnostics Complete, Fully Functional。消去のみの処理では代わりに Data Cleaning Certificate が発行され、Fully Wiped のバナーが表示されます。

コンテンツ消去の方式

データをどのように除去したか、および ADISA マーク。

暗号化の種類が特定されます。フルディスク暗号化されたデバイスでは鍵を破棄し、暗号化されていないデバイスでは上書きを行います。ADISA 保証レベル 4 のバッジはその記述の下に表示されます。

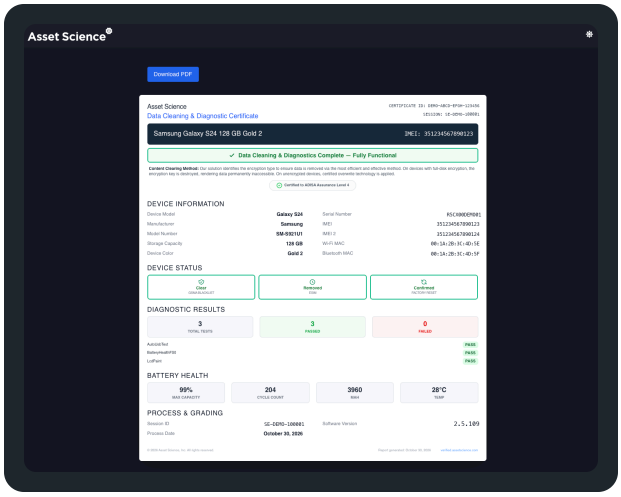


図2 verified.assetscience.com → 証明書。Data Cleaning & Diagnostic Certificate と、その上の Download PDF ボタン。識別子、MAC アドレス、セッション ID は架空のものです。

デバイス情報

ID 情報 10 項目。

デバイスモデル　メーカー　モデル番号

ストレージ容量　デバイスの色　シリアル番号　IMEI

IMEI 2　Wi-Fi MAC　Bluetooth MAC

デバイスステータス

実行されたチェックをタイルで表示。

チェックが実行されて合格なら緑、実行されて失敗なら赤、実行されなかった場合は N/A を琥珀色で表示します。チェックにはアクティベーション、Find My、GSMA ブラックリスト、MDM、eSIM、ファクトリーリセット、部品が含まれます。ロックは報告するのみで、解除は行いません。

診断結果とバッテリー

件数、続いて全テストを名称付きで表示。

合計、合格、失敗の件数に続き、各テストを PASS または FAIL とともに表示します。バッテリーの健全性では、最大容量、サイクル数、mAh 単位の容量、温度が示されます。

処理とグレーディング

誰が、いつ、どのソフトウェアで。

セッション ID、処理日、そのレコードを生成したソフトウェアのバージョン。フッターには生成日と検証サイトが記載されます。

証明書は記録された内容のみを反映します。 実行されなかったチェックは、合格ではなく N/A と表示されます。消去ステップの前に失敗した処理では、Factory Reset が Failed と表示され、バナーは Process Failed となります。失敗したデバイスに、黙って証明書が発行されることはありません。

何を公開するかは、お客様が決めます

顧客アカウントごとに 3 つのスイッチを Control Center で設定します。

公開はオプトインです。証明書ページと PDF は別々のスイッチであり、ページを無効にしただけでは PDF が非公開になるわけではありません。これは意図的に設けた 2 つ目の制御です。

設定	許可される内容
公開検索への結果の公開	処理したデバイスを、誰でも IMEI またはシリアル番号で検索し、その消去結果と診断結果を閲覧できます。
公開証明書リンクの許可	証明書リンクを持つ人は、サインインせずに証明書ページを開けます。Device History の Public Certificate ボタンと、エクスポートしたレポート内の証明書リンクもこの設定で制御されます。
公開 PDF ダウンロードの許可	証明書リンクを持つ人は、サインインせずに証明書を PDF としてダウンロードできます。上記のページとは別のスイッチです。

バッチ単位の証拠

パレット 1 枚分を処理する人が、証明書を 1 通ずつ開きたいとは思いません。

- **スキャンしたバッチの CSV エクスポート** を、検索画面から直接実行できます。
- **デバイスの一括検索** を、最大 30,000 件の識別子を含む CSV から実行できます。
- **証明書 PDF の一括生成と送信**。デバイスを 1 台ずつ処理する必要はありません。
- **証明書リンクはエクスポートしたレポートの中に含まれます**。購入検討者は、送付されたファイルから証拠を開けます。

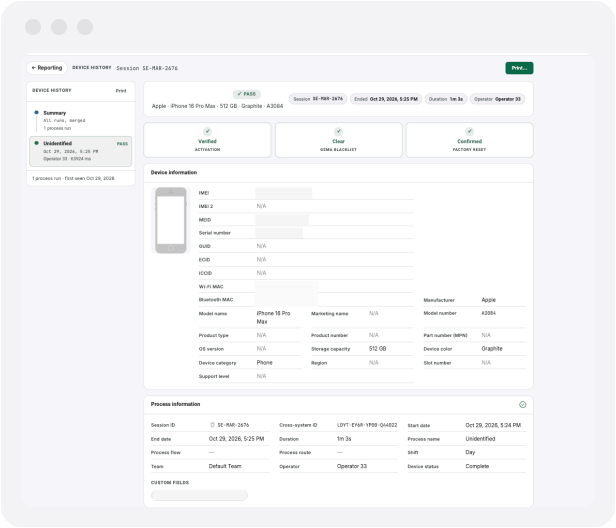


図3　Control Center → Device History。デバイス自身のレコード上に、同じ証拠がタイルとして表示されます。アクティベーション確認済み、GSMA クリア、ファクトリーリセット確認済みが、識別子ブロックと処理情報の上に並びます。識別子は架空のものです。

社内と社外で一致します。 公開証明書に表示される内容は、Control Center の Device History が保持する内容そのものです。デバイスごとにレコードは 1 つで、公開ページはその表示であり、2 つ目の複製ではありません。

公開検証

この市場では、認証の主張がその範囲を超えて拡大解釈されることが日常的に起きています。

当社の主張はその範囲を明記し、認証を取得した製品を名指ししています。そしてレコード自体が公開されています。購入検討者も、監査担当者も、最終所有者も、当社やお客様の言葉を信じることなく、自分で読むことができます。

処理したデバイスで検索を試してください。

無料トライアルを開始し、デバイスを 1 台処理して、公開ページで検索してみてください。そのうえで、外部に何を見せるかをアカウントごとに決定してください。

無料トライアル	公開証明書	ウェブ
onboarding.assetscience.com	verified.assetscience.com/verify	assetscience.com

© 2026 Asset Science. スクリーンショットは製品ビルドのものです。表示されているデバイス識別子、セッション ID、オペレーター名、顧客データは架空のものです。製品名および商標は、それぞれの所有者に帰属します。